

**【研究テーマ】**

免疫チェックポイント阻害薬による甲状腺機能障害およびその管理状況の調査

研究責任者：徳島県立三好病院 薬剤科 科長 辻井大輔

共同責任者：徳島県立三好病院 薬剤科 副科長 松本陽子

**【研究目的・意義】**

本研究では免疫チェックポイント阻害薬使用患者における甲状腺機能検査の状況、甲状腺機能障害の発現状況、転帰を調査する。

免疫チェックポイント阻害薬は、発現時期の予測が難しい免疫関連有害事象（irAE）が出現する可能性があり、その中でも甲状腺機能障害の頻度は高く、本邦のがん免疫療法ガイドラインでは、適切なモニタリングや治療を行うことで、投与継続が可能であるとされている。当院での、免疫チェックポイント阻害薬使用患者における甲状腺機能検査の状況などを把握し、今後の安全な投与の一助とする。

**【研究方法および内容】**

後方視的観察研究を行う。免疫チェックポイント阻害薬の投与期間中の甲状腺機能検査の状況および甲状腺機能障害の発現状況、転帰についてカルテから調査を行う。

**【研究期間】**

R7年1月30日からR7年3月30日

**【研究対象者】**

2022年10月から2024年9月の間に免疫チェックポイント阻害薬の投与を行った患者。